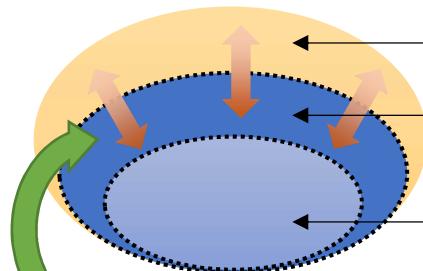


これまで

行政・庁舎の在り方そのものの議論

目標

市民の利便性・満足度（＊）の向上（＊）～画一的・大量生産的発想から  
伴走型・オーダーメイド型行政へ～目指すべき  
行政の姿

新たな時代の市民ニーズ

本来、職員が丁寧に伴走・寄り添うべき  
業務や分野  
(モバイル職員、アウトリーチ型など)デジタル化により効率化を図る業務や分野  
(オンライン申請、AI、RPA、チャットボットなど)人的・財政的資源を重点的に投入コロナ禍  
により  
加速

社会情勢の劇的な変化

デジタル化、オンライン化、場所や  
移動に対する概念の変化

新しい生活様式

非対面・非接触、新しい働き方

場所や時間にとらわれない  
新しい時代の行政の姿を描いていく

柔軟性

行政の拠点としての庁舎について  
大規模なものが必要かどうか但し、その変化は段階的であり、  
現状必要となる機能・規模は  
引き続き存在する

縮小性

中長期的な社会情勢の変化を  
見据えることは非常に困難将来世代にとって過度の負担や制約  
を課すことにならない視点が重要

将来

これまでと同じような庁舎という建物は必要か？